



がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2018年全国集計報告 背景：院内がん登録の位置づけ

令和元年12月12日 説明資料

国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター・がん登録センター 東 尚弘



がん登録の種類について

	院内がん登録	地域がん登録	全国がん登録
実施主体	国・医療機関	都道府県	国・都道府県
集計対象	がん診療連携拠点病院等で診断したがん (指定要件)	全国47都道府県内の病院及び診療所で診断したがん	全国の病院及び指定された診療所で診断したがん(義務)
集計結果	(拠点)病院の診療実績	都道府県及び全国での推計罹患数・率	都道府県及び全国での実測罹患数・率
主たる集計目的	(拠点)病院の実態把握と医療の質向上、医療機関選択	国及び都道府県のがん対策	国及び都道府県のがん対策
集計開始	2007年	1951年	2016年
最新集計	2018年診断例 約104万例、828施設 (拠点433、小児6、 県推薦336、任意53) (上皮内がん含む全症例)	2015年診断例 47都道府県 罹患数約89万例	2016年診断例 約99万5千人 (上皮内がんを除く)

院内がん登録の実施根拠

- ～2015 ➤ 「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」
(がん診療連携拠点病院等の指定要件)
- ・標準登録様式に基づく実施
 - ・がん登録実務者の配置、研修参加
 - ・国立がん研究センターへの情報提供
 - ・地域がん登録事業等に必要な情報提供
-
- 2016～ ➤ 「がん登録等の推進に関する法律」
院内がん登録の実施に係る指針
上記に加え、
意義、体制、品質管理、生存状況確認
個人情報扱い
などを明文化



院内がん登録の位置づけ-1

平成28年1月1日施行

➤がん登録等の推進に関する法律第四十四条第一項

専門的ながん医療の提供を行う病院、その他の地域におけるがん医療の確保について重要な役割を担う病院の開設者及び管理者は、厚生労働大臣が定める指針に即して院内がん登録を実施するよう努めるものとする

平成27年12月15日公布

➤院内がん登録の実施に係る指針(厚生労働省告示第四百七十号)

院内がん登録とは、

「**病院において、がん医療の状況を適確に把握するため、**

当該病院におけるがん患者について、

全国がん登録情報よりも詳細な治療の状況を含む情報を収集し、

院内がん登録データベースに記録し、及び保存すること」



院内がん登録の位置づけ-2

平成27年12月15日公布

▶ 院内がん登録の実施に係る指針(厚生労働省告示第四百七十号)

院内がん登録データベースの活用により、以下の効果が期待される

1. 病院において、当該病院において診療が行われたがんの罹(り)患、診療、転帰等の情報を適確に把握し、治療の結果等を評価すること及び他の病院における評価と比較することにより、がん医療の質の向上が図られること
2. 国立研究開発法人国立がん研究センターにおいて、院内がん情報等を全国規模で収集し、当該情報を基にしたがん統計等の算出等を行うことにより、専門的ながん医療を提供する医療機関の実態把握に資すること
3. 病院や国立がん研究センターにおいて、院内がん情報等を適切に公表することにより、がん患者及びその家族等の医療機関の選択等に資すること
4. 行政において、前号に基づき公表された院内がん情報を活用し、がん対策の企画立案やがん医療の分析及び評価を行うことにより、がん対策の充実が図られること



がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2018年全国集計報告

令和元年12月12日 説明資料

国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター・がん登録センター
院内がん登録分析室 奥山 絢子



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

●本リリースのポイント

- 院内がん登録全国集計報告書として、今回は**12回目**の報告
- 国民の皆様により迅速でタイムリーな情報を提供するため公表時期を早めた(これまでデータ収集から報告書公表まで**約1年**)
- 特別集計として、**疾患別診療規模**(自施設初回治療開始例)**別にみた年齢と病期、治療方法の分布**について集計
- 「院内がん登録全国集計結果閲覧システム」で、治療前・総合病期別登録数の検索に加え、主に手術例を対象とする**術後病理学的ステージ別登録数の検索ができるよう更新**
【検索対象】胃癌、大腸癌(結腸癌、直腸癌)、肝臓(肝細胞癌、肝内胆管癌)、肺(肺小細胞癌、肺非小細胞癌)、乳癌、食道癌、膵臓癌、前立腺癌、子宮頸癌、子宮内膜癌、膀胱癌、甲状腺癌(乳頭・濾胞癌、未分化癌、髄様癌)、胆嚢癌、喉頭癌、腎癌、腎盂尿管癌



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

【調査対象】

- データ提出依頼施設 872施設
2019年6月時点でのがん診療連携拠点病院等436施設、小児がん拠点病院6施設
都道府県推薦病院 375施設、任意参加病院55施設
- 対象データ 2018年診断例(2018年1月1日～12月31日)
- データ収集期間 2019年7月～9月

【調査結果】

- 集計対象数 2018年診断例 **1,039,193件**(全登録数)、**828施設**

がん診療連携拠点病院等	433施設	753,483件
小児がん拠点病院	6施設	621件
都道府県推薦病院	336施設	259,364件
任意参加病院	53施設	25,725件

-データ収集内容:院内がん登録標準登録様式(2016年版)

2018年診断例より**UICC TNM分類第8版準拠**

2017年診断例までは第7版準拠で登録(これまでと病期登録分類が異なる)

※一般に実臨床で用いられる取り扱い規約分類と異なります



参考：院内がん登録における登録対象

自施設で診断 または 他施設で既に診断されたのち
自施設を初診した、

悪性新生物(がん)、上皮内癌

髄膜又は脳、脊髄、脳神経その他中枢神経系に発生した

腫瘍の良性及び良悪性不詳の腫瘍

一部の卵巣の境界悪性腫瘍

消化管間質腫瘍

各施設における登録対象

- ▶ 入院・外来を問わず、自施設において初診し、診断及び/又は治療等の対象となった腫瘍



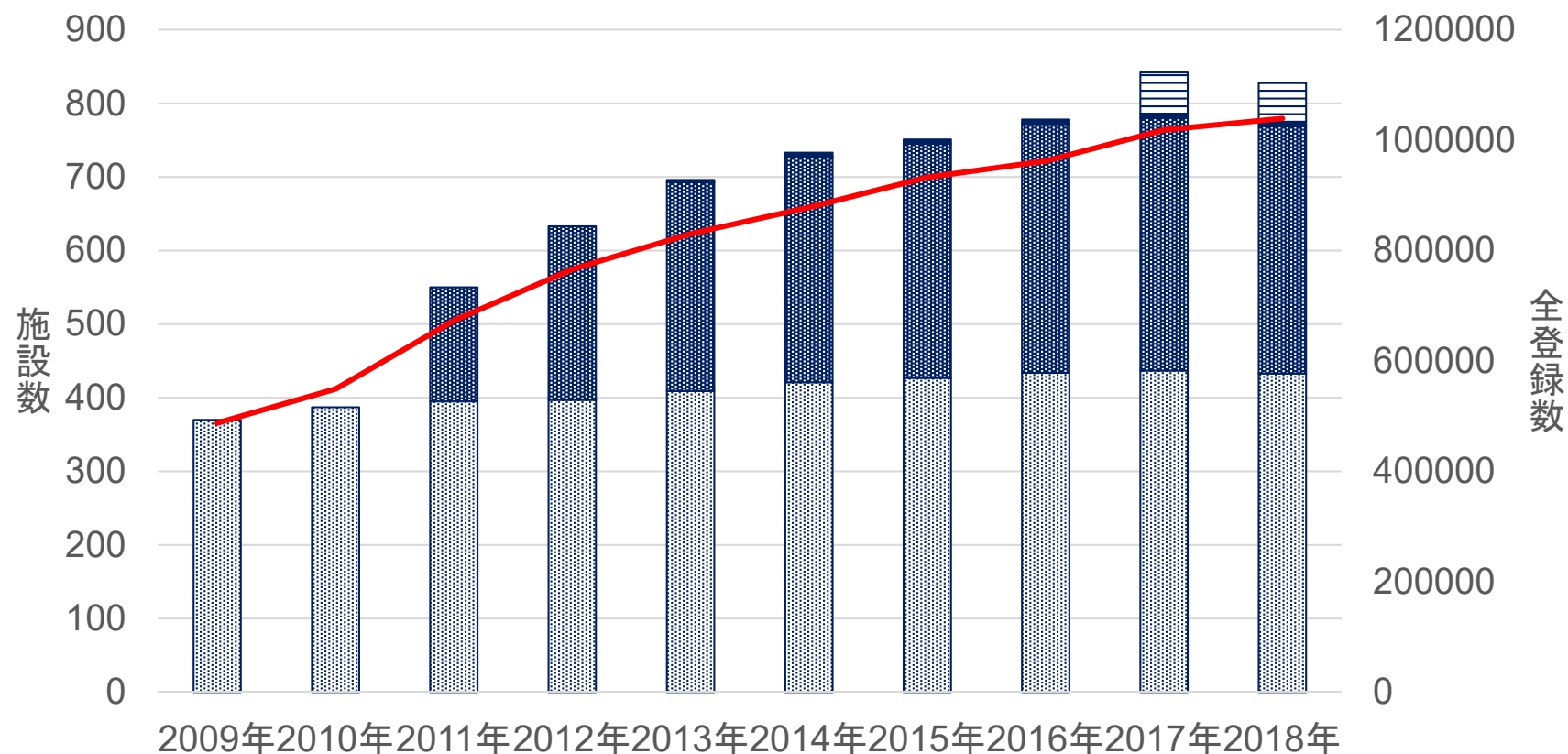
がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

●集計のポイント

- ▶ **がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院、都道府県推薦病院、任意参加病院を合わせ集計 828施設 1,039,193件** (前回842施設、1,018,616件)
前回と比較して集計対象施設は、14施設減少していますが、登録数は20,577件増加
- ▶ **詳細な腫瘍情報集計での追加点** (全体集計のみ)
子宮肉腫(病期分布集計)
膵臓癌(高分化型神経内分泌腫瘍を別途集計)、食道癌(扁平上皮癌・腺癌別に病期分布集計)
- ▶ **特別集計として、胃癌、大腸癌、肺非小細胞癌、乳癌、前立腺癌について施設の疾患別診療規模(自施設初回治療開始例)別に年齢、病期、治療方法の分布を集計**
各癌の診療規模別に施設をグループに分けて、患者の年齢、病期、治療方法の分布を集計
- ▶ **院内がん登録全国集計結果閲覧システム**で術後病理学的ステージ別の登録数が検索可能(2018年診断例のみ)
主に手術症例を対象とする術後病理学的ステージ別に、治療方法別登録数等が検索可能
更に、検索結果からがん情報サービスに掲載されているがん診療連携拠点病院等の病院別情報を見ることができます。



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計



**2011年診断例からの都道府県推薦病院の参加以降、
データ収集数は増加し、2018年診断例約104万件(全登録数)のデータを解析**



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

【全体集計の追加点】

子宮肉腫

自施設初回治療開始例
601件(311施設)

平均年齢 57.3歳(SD12.6)

<発生部位>

子宮体部 約98%

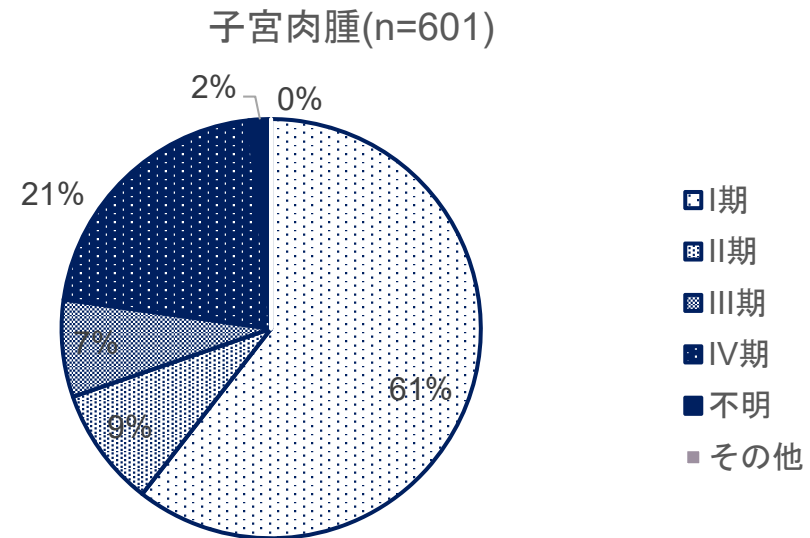
<組織形態>

平滑筋肉腫 約53%

子宮内膜間質肉腫 約34%

腺肉腫 約13%

UICC TNM分類総合ステージ分布



参考:子宮内膜癌 13,990件(633施設)が子宮体部に発生したがんの95.4%

**子宮肉腫として601件の登録、発生部位としては、約98%が子宮体部
組織形態をみると約53%が平滑筋肉腫**

※臨床で一般に用いられている取り扱い規約分類と異なります

【全国集計報告書 P.122-】



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

【全体集計の追加点】

*UICC TNM分類第8版より高分化型神経内分泌腫瘍(膵臓)の病期分類が分離

高分化型神経内分泌腫瘍(膵臓)

自施設初回治療開始例

1,268件(399施設)

平均年齢 62.8歳(SD13.9)

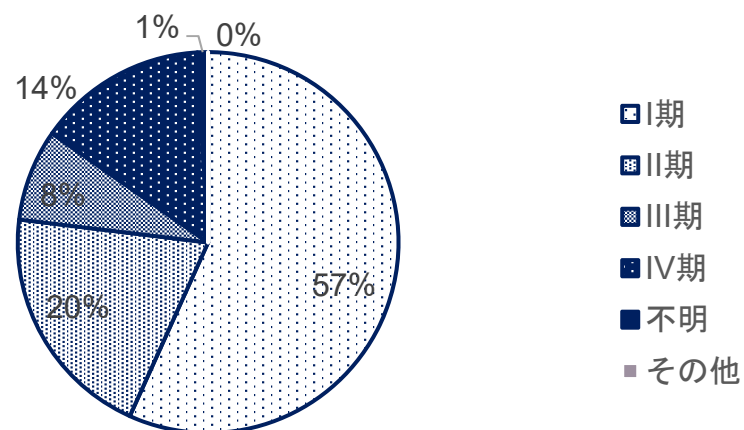
性別をみると、男性が51.8%、女性が48.2%

膵臓に発生したがんの約4%

総合ステージは、I期が約57%

UICC TNM分類総合ステージ分布

高分化型神経内分泌腫瘍(膵臓) (n=1,268)



参考:膵臓癌 27,728件(813施設)が膵臓に発生したがんの95.5%

高分化型神経内分泌腫瘍(膵臓)として1,268件の登録、膵臓に発生したがんの約4%を占め、総合ステージをみるとI期が約57%

※臨床で一般に用いられている取り扱い規約分類と異なります

【全国集計報告書 P.111-】



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

【全体集計の追加点】

*UICC TNM分類第8版より扁平上皮癌と腺癌で病期分類が分離

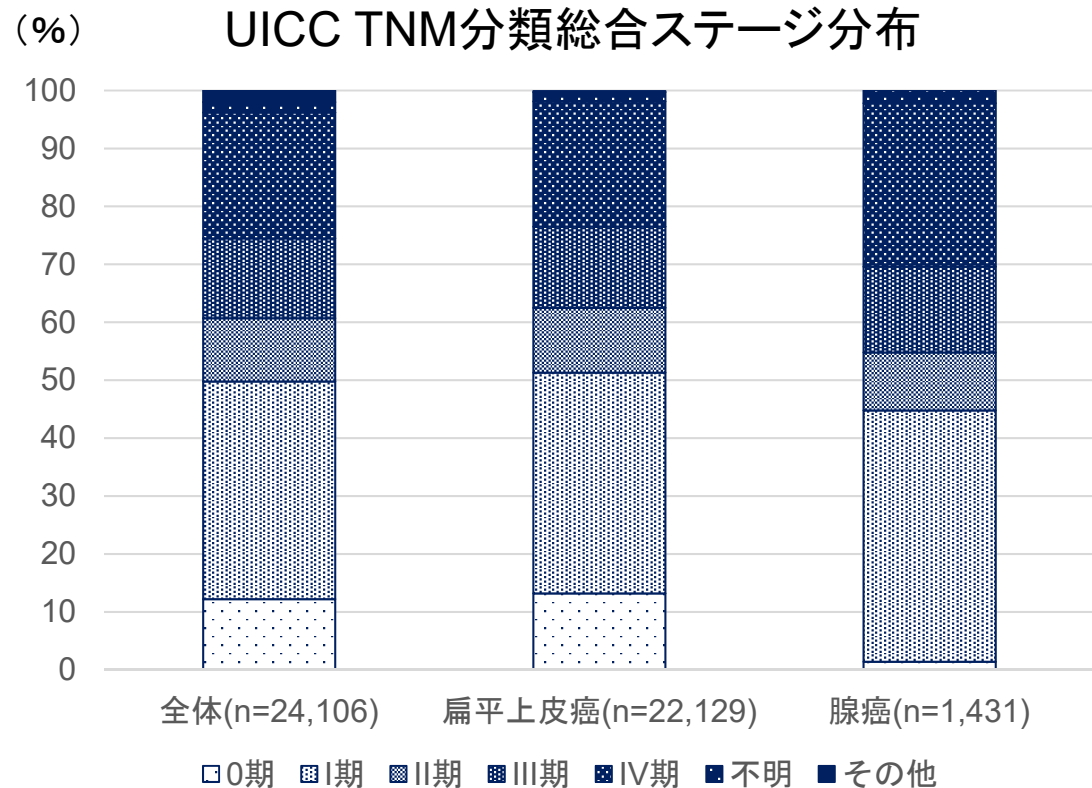
食道癌

自施設初回治療開始例
24,106件(770施設)

平均年齢 71.1歳(SD9.5)
性別をみると、男性が83.1%
女性が16.9%

<組織形態>

扁平上皮癌 91.8%
腺癌 5.9%



**食道癌は、男性が約83%を占め、
組織形態をみると扁平上皮癌が約92%を占めた**

※臨床で一般に用いられている取り扱い規約分類と異なります

【全国集計報告書 P.101-】

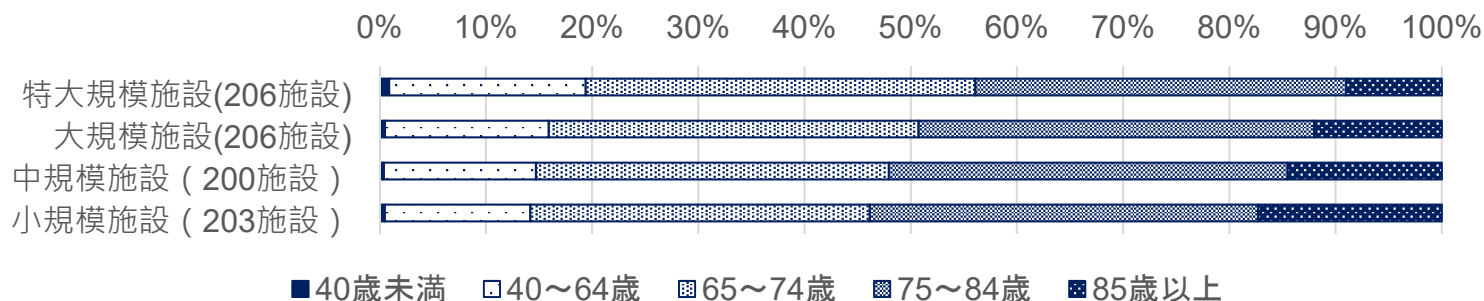


がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

【特別集計：疾患別診療規模別の年齢、病期、治療方法の分布】

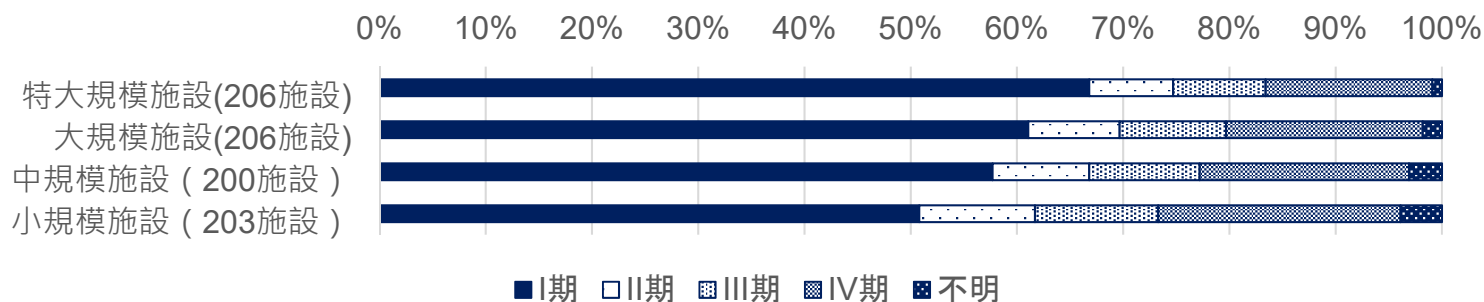
胃癌

胃癌診療規模別年齢分布



平均年齢：特大規模72.5歳 < 大規模73.9歳 < 中規模74.7歳 < 小規模75.2歳

胃癌診療規模別総合ステージ分布



患者登録数が少ない小規模施設ほど
年齢が高く、比較的進行した患者さんが多い傾向

*自施設初回治療開始例

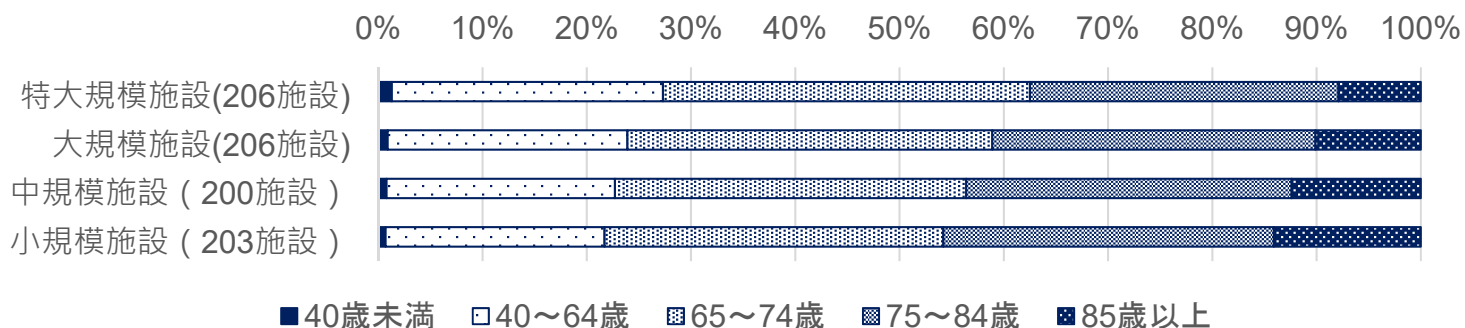


がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

【特別集計：疾患別診療規模別の年齢、病期、治療方法の分布】

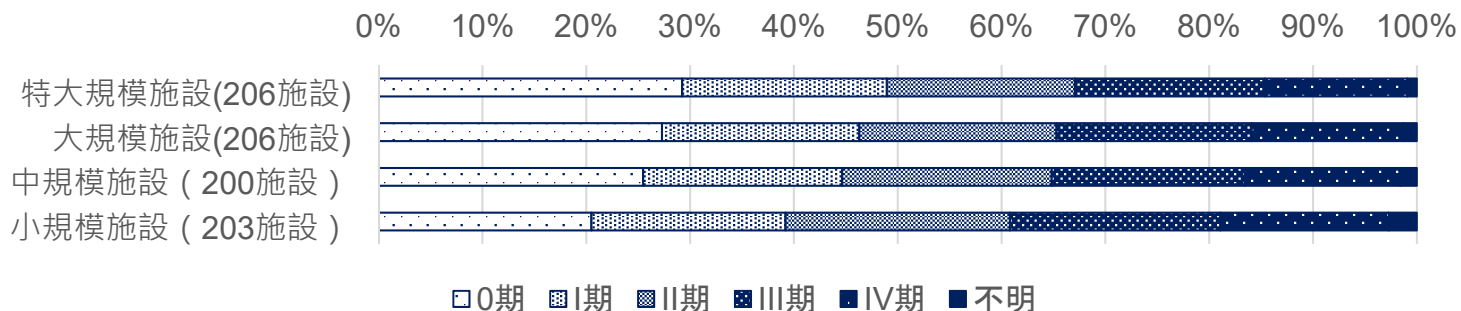
大腸癌

大腸癌診療規模別年齢分布



平均年齢：特大規模70.4歳 < 大規模71.6歳 < 中規模72.2歳 < 小規模73.0歳

大腸癌診療規模別総合ステージ分布



患者登録数が少ない小規模施設ほど

年齢が高く、若干ではあるが比較的進行した患者さんが多い傾向

*自施設初回治療開始例

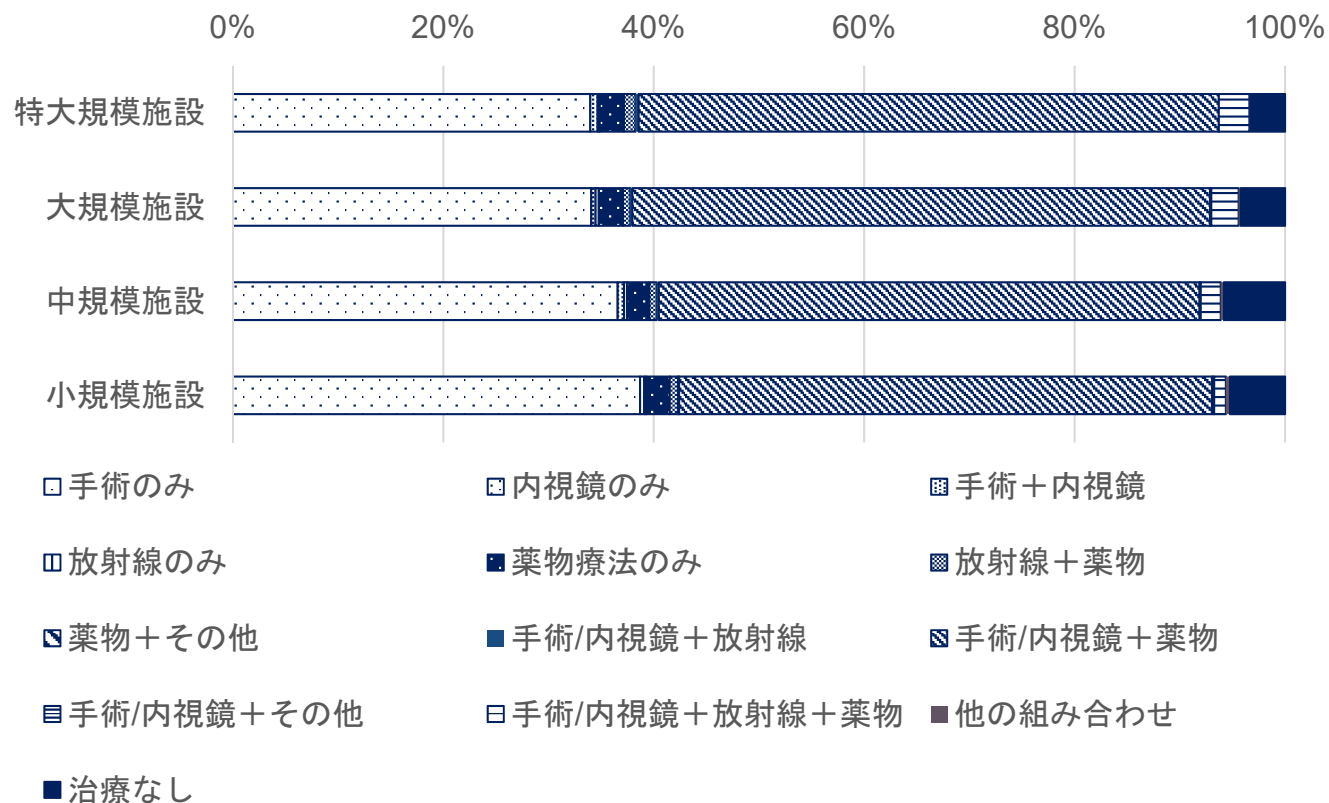


がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

【特別集計：疾患別診療規模別の年齢、病期、治療方法の分布】

大腸癌診療規模別治療方法の分布

大腸癌 III期



患者登録数が少ない小規模施設ほど手術のみがやや多い
高齢の患者さんが多かったことをみると、患者さんのQOL等を考慮した治療選択の可能性

*自施設初回治療開始例

【全国集計報告書 P.162-】



院内がん登録全国集計結果閲覧システム更新(1)

【開発目的】

- 現在、1000頁近くあるPDF付表の結果を見やすい形で提供
- より患者さんや国民が知りたい情報がみつかるように

【集計結果検索システム】

- 2016年、2017年、**2018年**診断例の付表結果を閲覧可(自施設初回治療開始例)
- 都道府県、施設別集計値の結果を検索し、提供
- 胃癌、大腸癌(結腸癌、直腸癌)、肝細胞癌、肝内胆管癌、肺非小細胞癌、肺小細胞癌、乳癌、食道癌、膵臓癌、前立腺癌、子宮頸癌、子宮内膜癌、膀胱癌、甲状腺乳頭・濾胞癌、甲状腺未分化癌、甲状腺髄様癌、喉頭、胆嚢、腎、腎盂尿管について、治療前・**術後病理学的**・総合病期別に、治療方法、年齢、性別登録数の検索可

※がん診療連携拠点病院等については、検索結果からがん情報サービスの病院情報を閲覧することも可能になりました



院内がん登録全国集計結果閲覧システム(2)

URL:<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/>

国立がん研究センター
がん情報サービス ganjoho.jp がん登録・統計

院内がん登録 全国集計 結果閲覧システム (0年集計)

- [はじめに](#) (院内がん登録集計結果閲覧システムの見方)
- 操作方法は[こちら](#)をご参照ください。

院内がん登録は、病院で診断されたり、治療されたりした患者さんのがんについての情報を病院全体で集めたものです。国立がん研究センターでは、がん登録等の推進に関する法律及び院内がん登録の実施に係る指針(厚生労働省告示470号)に基づいて、データ収集を行っています。

ここでは、**自施設で初回治療を開始されたがん患者さんについての都道府県別、施設別に収集した結果**を見ることができます。他施設で初回治療を開始した後に受診された場合、診断やセカンドオピニオンのみの場合などは、集計に含まれておりません。**病院間の優劣と誤認するような利用の仕方は控えて下さい。**臨床病期は、UICC TNM分類に基づいた病期です。

付表7の癌腫について、施設別、都道府県別、検索可

▼集計単位を選択してください。

▼施設別登録数検索

[集計対象施設一覧](#)

▼都道府県別登録数検索

[都道府県別集計対象施設数一覧](#)

*本集計結果を施設等でご利用になる場合は、下記を出典として明記して下さい。
出典 和文 国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」
英文 Cancer Information Service, National Cancer Center, Japan. Annual Report of Hospital-Based Cancer Registries.



院内がん登録全国集計結果閲覧システム(2)

施設別検索

がん登録・統計

院内がん登録 全国集計 結果閲覧システム (0年集計) 施設別登録数検索

都道府県別集計へ

TOP画面へ戻る

■操作方法は[こちら](#)をご参照ください。

※必須項目には「*」マークを付けていますので、「*」マークがついている項目に関しては必ず設定してください。

1. がん・病期*

がん: 病期:

臨床病期
 術後病理病期
 総合病期
※総合病期は術後病理学的結果を加えた病期

2. 施設*

都道府県: 施設名絞り込み:

施設リスト

- 北海道がんセンター
- 旭川厚生病院
- 王子総合病院
- 旭川市立病院
- 青森県済生会病院
- 青森県立病院
- 青森県立中央病院
- 北見赤十字病院
- 青森県立病院
- 日赤北海道病院

検索対象施設*

3. 診断年*

~ 年

4. 集計表示対象

年齢階級 治療方法 性別

1. 「がん」を選ぶ
 * オプションで臨床病期を選ぶと、臨床病期別、治療方法、年齢、性別登録数も検索可

2. 「施設」を選ぶ
 * 都道府県を選ぶと当該県内施設が表示
 * 「検索対象施設」に追加

3. 結果表示をクリック

結果表示

※臨床病期は、UICC TNM分類に基づいた病期です。
 主治医の先生が付けている病期(2)の扱い的とは異なる場合があります。
 肝細胞癌、肝内胆管癌は、取り扱い規約分類による臨床病期の情報のみです。総合病期はあいません。
 ※治療方法は登録から約5か月間を実施された治療を集計しています。



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

● 集計結果のポイント

➤ 集計対象施設は若干減少しているが、全国でがん診療を担っている
828施設、約104万件のデータを解析

➤ 全体集計での追加点

子宮体部に発生したがんの約95%が子宮内膜癌、子宮肉腫は約4%
膵臓に発生したがんの約4%が高分化型神経内分泌腫瘍
食道癌は男性に多く、組織形態をみると90%以上が扁平上皮癌

**同じ部位に発生したがんでも組織形態が異なるがんがある
病期分布や治療法については、がん毎にみていくことが必要**

➤ 院内がん登録集計結果閲覧システムでは、主に手術例を対象とした術後
病理学的ステージ別の登録数が検索可能



がん診療連携拠点病院等院内がん登録2018年全国集計

● 集計結果のポイント

- ▶ 特別集計：疾患別診療規模別に施設を4グループに分けて、患者の年齢、病期、治療方法の分布をみると、全体として患者登録数が少ない小規模施設では患者の平均年齢がやや高くなり、85歳以上の高齢患者さんの割合が多い傾向

**がん診療の実態を考えるには、
各施設の患者の年齢構成等の患者背景を考慮することが必要**



謝辞

院内がん登録は、

- 全国のがん診療連携拠点病院等、院内がん登録をされているがん診療施設等の協力のもと実施されています
- 院内がん登録の集計・公表方針等については、都道府県拠点病院がん登録部会医師委員・県登録部会委員の先生方やがん登録実務者のご協力のもと、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会において検討しています
- 院内がん登録実施に当たり、皆様のご協力に心よりお礼申し上げます